

調 査 実 施 要 項

1．調査内容

- (1) 児童生徒を対象にした「学習に関する意識調査」
- (2) 教員を対象にした「学習指導に関する意識調査」

2．調査の対象

- (1) 全ての学力向上フロンティアスクールを対象に調査を実施
- (2) 実施対象及び実施規模

「学習に関する意識調査」

小学校・・・原則として、第3学年及び第5学年で実施

中学校・・・原則として、第1学年及び第3学年で実施

* 該当する学年で取組を行っていない場合は、隣接学年で実施すること。

対象学年の児童生徒数が25名以下の場合は、学年全員を対象に実施

対象学年に児童生徒数が25名以下の学級がある場合は、2学級で実施

対象学年の学級が26名以上の児童生徒数で編制されている場合は、任意の1学級で実施

「学習指導に関する意識調査」

各学校のフロンティアティーチャー1名を対象に実施

3．調査の方法

- (1) 実施時期
平成15年9月上旬に実施
- (2) 実施方法等
各学校

実施対象児童生徒を決定し調査を実施する。

「学習に関する意識調査」のうち、小学校においては「少人数指導」「チームティーチング」「一部教科担任制」に関する設問について、各学校の研究の取組内容に応じて、関係する調査項目のみ実施すること。
また、中学校においては、「少人数指導」「チームティーチング」に関する設問について、各学校の研究の取組内容に応じて、関係する調査項目のみ実施すること。
但し、小学校の設問、中学校の設問については、必ず実施すること。

フロンティアティーチャーを対象に調査を実施する。

二つの調査結果を「調査集計表(各学校用)」に整理し、関係の区市町村教育委員会をとおして都道府県教育委員会へ提出する。

都道府県教育委員会

関係区市町村教育委員会をとおして、各学力向上フロンティアスクールへ調査を依頼する。

関係区市町村教育委員会をとおして提出された各学力向上フロンティアスクールからの調査集計表を都道府県ごとに集計・整理し、文部科学省に提出する。

その際、昨年度から継続して指定されている学校(継続校)と本年度から新たに指定された学校(新規校)を区別して集計・整理する。

学校や家での学習への取り組みのようすについて
お聞きします。

1. わからないことは、進んで質問している。

1 2 3 4

2. 難しい問題にも進んで挑戦している。

1 2 3 4

3. テストでできなかった問題をあとで確かめている。

1 2 3 4

4. 興味や関心のあることは、進んで調べている。

1 2 3 4

5. 学習用具は、忘れずに持ってきている。

1 2 3 4

6. 宿題は忘れずにやっている。

1 2 3 4

7. 宿題がなくても進んで予習や復習をしている。

1 2 3 4

学習指導に関する意識調査票（教師用）

文を読んで、あなた及びあなたの学校にあてはまるものを選び、番号を で囲んでください。

あてはまる番号を で囲んでください。

1. 性別 1. 男性 2. 女性

2. 年齢 1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳 4. 50歳以上

少人数指導についてお聞きします。

- | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---|---|
| 1. 学習内容を理解できている児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 分からないことを積極的に質問する児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 授業に集中して取り組む児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 主体的に学習問題の解決に取り組む児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 少人数に分かれて学習することを児童生徒は違和感なく受け入れている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 児童生徒の理解や習熟の程度に合わせた授業が実現できている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 少人数指導は児童生徒にとって効果的な指導方法である。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

「7」で、「まったくあてはまらない」を選択した方は、その理由をお書きください。

チームティーチングについてお聞きします。

- | | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|---|
| 1. 学習内容を理解できている児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 分からないことを積極的に質問する児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 授業に集中して取り組む児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 主体的に学習問題の解決に取り組む児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 二人の教師が教えることを児童生徒は違和感なく受け入れている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 児童生徒からの質問や理解できていない児童生徒にすぐに対応できている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. チームティーチングは効果的な指導方法である。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

「7」で、「まったくあてはまらない」を選択した方は、その理由をお書きください。

小学校における教科担任制についてお聞きします。

(小学校教員のみ回答)

- | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---|---|
| 1. 学習内容を理解できている児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 分からないことを積極的に質問する児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 授業に集中して取り組む児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 主体的に学習問題の解決に取り組む児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 教科によって教師が替わることを児童生徒は違和感なく受け入れている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 児童生徒の多様な学習ニーズに対応できている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 小学校での教科担任制は効果的である。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

「7」で、「まったくあてはまらない」を選択した方は、その理由をお書きください。

児童生徒の学習への取組状況についてお聞きします

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1. 積極的に質問したり意見を述べたりする児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 難しい問題にも積極的に挑戦する児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. テスト等で間違った問題を進んで確かめようとする児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 興味や関心のあることは、積極的に調べる児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 学習用具などの準備物を忘れる児童生徒が減っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 宿題を忘れてくる児童生徒が減っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 宿題を出されなくても、主体的に予習や復習に取り組む児童生徒が増えている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

学力向上フロンティアスクールとして、先生方の学習指導に対する意識や取組状況等についてお聞きします。

1. 教師間の情報交換や連携が図られている。
2. 授業改善に主体的に取り組んでいる。
3. 児童生徒の実態に応じた教材の開発が行われている。
4. 児童生徒の学習状況をとらえる適切な評価が行われている。
5. 校内や校外の研修に主体的に臨んでいる。
6. 学力向上に関する意識の高まりが見られる。
7. 児童生徒の学習状況について、積極的に保護者に知らせている。
8. 学力向上フロンティアスクールとしての取組に対して保護者は好意的に受けとめている。

1 2 3 4

1 2 3 4

1 2 3 4

1 2 3 4

1 2 3 4

1 2 3 4

1 2 3 4

1 2 3 4